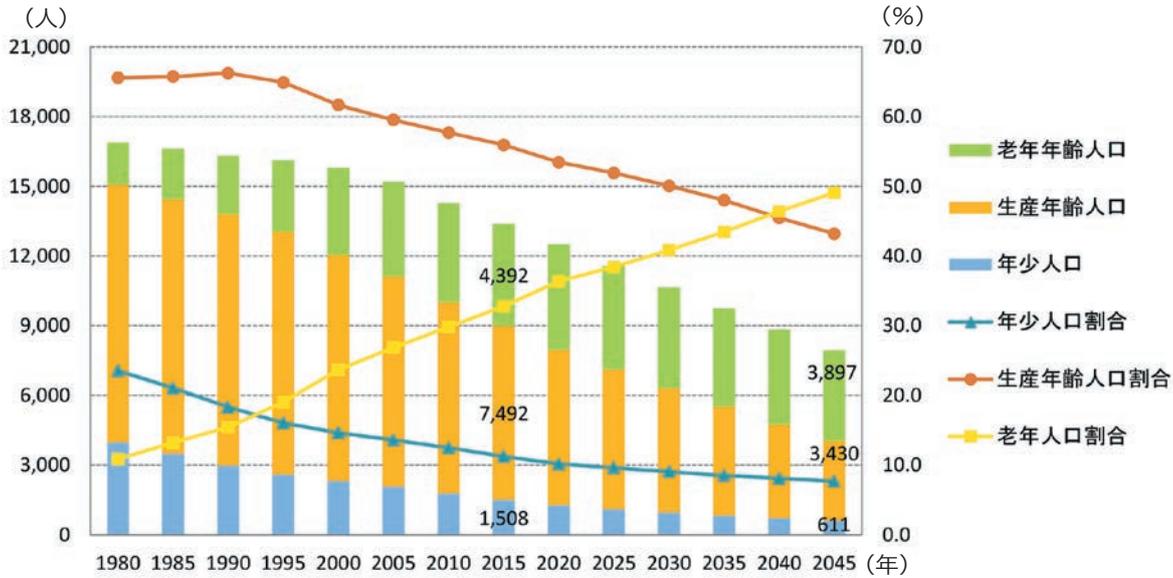


第二期「鶴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 鶴田町人口ビジョン（令和2年3月改訂）を策定しました

■鶴田町の今後の総人口と年齢3区分人口の推移



※2010年までは「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所（社人研）推計値

以下に減少するうえ、老年人口も緩やかながら減少が予測されることから、町の総人口は急激な減少を招くと考えられます。

鶴田町の総人口をみると、2015年（国勢調査）では13,392人でした。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、30年後の2045年には7,938人と推計され、2015年に比べて5,454人（40.7%）の減少が予測されています。

次に、年齢3区分別の人口をみると、生産年齢人口は総人口に比例して減少し、2015年～2045年の間に4,062人（54.2%）の減少が予測されています。また、年少人口の減少割合も大きく、同期間で897人（59.5%）の減少、老年人口は増加し続けるものの2030年には減少に転じ、2015年～2045年で495人（11.3%）の減少が予測されています。

産み育てられるよう子どもを育て支援対策を充実させるとともに、死亡数減少、健康寿命の延伸に向けた健康づくりの取組が必要になります。

合計特殊出生率は1997年の1.59以降下降し続けており、2012年には1.28まで下がっています。改善施策の効果により自然動態が好転しても、その影響が総人口に及ぶまで時間がかかることから、出生率の上昇につながる施策の早期取組が求められます。

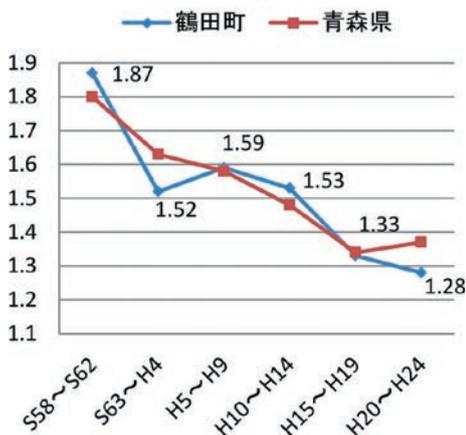
一般的に人口減少の要因は、「自然減少」と「社会減少」に大別されます。近年、当町の転出入の差は小さく、社会減は緩和されたものの、1996年以降死亡数が出生数を大きく上回り、その差は広がる一方となっています。結果、当町の人口減には「自然減」の影響が大きく、2020年以降5年ごとに800～1000人減少すると予測されています。

町の働き手が半減!?

町の課題

日本全体で人口減少が急速に進行する中、鶴田町では、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり活力ある地域社会を実現していくために、第二期「鶴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「鶴田町人口ビジョン」（令和2年3月改訂）を策定しました。

■合計特殊出生率の推移



☆用語解説

出生率	合計特殊出生率	社会減	自然減	老年人口	年少人口	生産年齢人口
もの数	一人の女性が一生に生む子どもの数	出生者数が死亡者数を下回っている状態	人口流入数が流出数を下回っている状態	65歳以上人口	15歳未満人口	15歳以上65歳未満人口

人口の将来展望

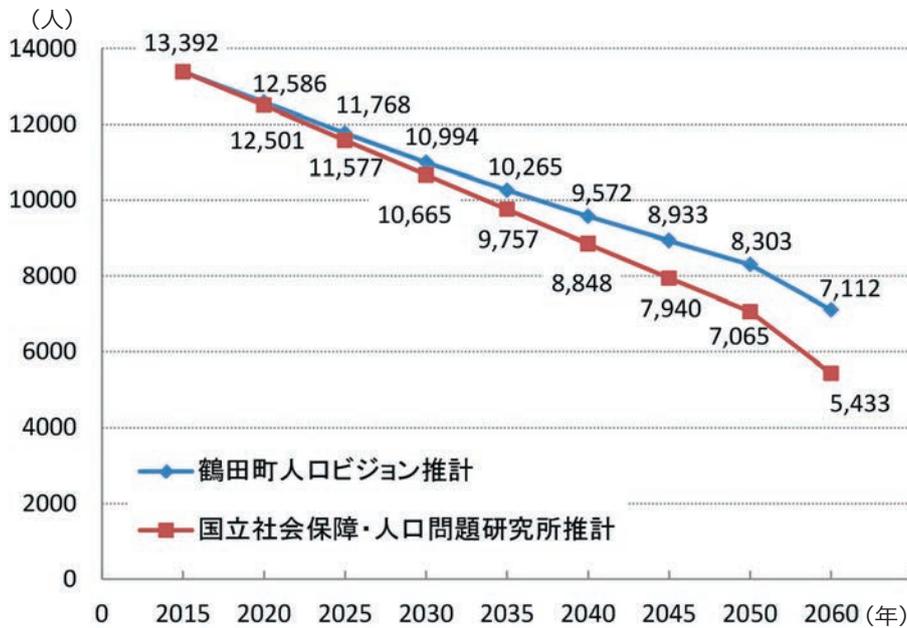
2060年国立社会保障・人口問題研究所推計

総人口 5,433人 高齢化率 54.0%
 高齢者1人を支える生産年齢者数：0.73人

2060年鶴田町人口ビジョン推計

総人口 7,112人 高齢化率 39.4%
 高齢者1人を支える生産年齢者数：1.19人

■目標人口推計



国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口では、当町の総人口は2035年には1万人を下回り、2060年には5,433人まで減少を続け、高齢化率は54%と予測がされています。

しかし、「目指すべき将来の方向」に沿って政策を推進することにより、2060年の鶴田町総人口を7,112人、高齢化率39.4%を目指します。

総人口は一貫して減少していき、超高齢化社会が進展しますが、2045年を境に高齢化率は減少し始め、その後人口構成割合はバランスを取り戻していきます。

目指すべき将来の方向性

- ◎ 若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てできる環境をつくる
- ◎ 安全・安心で便利なまちをつくる
- ◎ 町への新しい人の流れをつくる
- ◎ 地域特性を生かした雇用の場をつくる



目指すべき将来の方向性

人口減少に歯止めをかけるために当町が目指す将来の方向として、次の4項目が必要となります。

① 地域特性を生かした雇用の場をつくり、地域産業を支える人材を確保する

町内への定住や県外・町外からのU・I・J・ターンを促進するため、生活基盤となるしごとづくりを強化し、当町の基幹産業である農業分野の成長産業化など、魅力あるしごとづくりを進めます。

② 町への新たな人の流れをつくる

県外・町外の人口を当町に環流させるため、移住を推進するほか、当町に在住する若者が定着できるような支援する体制の強化を進めます。また、地域資源の掘り起こしおよび地域資源の観光コンテンツ化など、計画的なブランド戦略に基づき町の魅力を発信し、町内外に「鶴田ファン」を増やし、交流人口や関係人口を増加させる取り組みを行います。

③ 安全・安心で便利なまちをつくる

全世代・全員活躍型の「生涯活躍のまち」の実現を目指し、「コミュニティ」による地域福祉の充実、誰もが活躍できる社会環境づくりを進めるとともに、生活の利便性の向上や安全・安心な都市機能の強化を図り、魅力的な生活環境づくりを推進します。また、町民一人ひとりが自主的な健康づくり・疾病予防に取り組む健康なまちづくりを推進します。

④ 若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てできる環境をつくる

次代を担う子どもたちのため、若い世代が結婚・出産・子育てを安心して実現できる環境を整えます。また、子どもたちが将来も町に住みたいと思えるよう、町への愛着と誇りを醸成し、次代を担う人づくりを推進します。

この4つの柱を「目指すべき将来の方向性」として、自然減の抑制や出生率の向上などに取り組みしていきます。